

「地域」との共創：新たな「地域」研究の可能性

— 日本、雲南、モンゴルの取り組みを中心に —

日時：2018年11月1日（木）13:30～18:00

於：大阪大学吹田キャンパス コンベンションセンター第3(A)会議室

プログラム

11月1日（木）

13:30～13:35 開会の挨拶：平田收正（大阪大学）

13:35～14:25

基調講演：草郷孝好（関西大学）

「健康で幸せな地域づくりと協働型アクションリサーチ」

14:30～15:10

講演①：藤本秀弘（山門水源の森を次世代に引き継ぐ会）

「環境保全の30年と大学との連携を振り返る」

<休憩>

15:20～16:00

講演②：藤原誠（兵庫県宍粟市鷹巣活性化委員会）

「人口減少地域の挑戦と大学への期待」

16:00～16:40

講演③：上須道徳（大阪大学）

「地域が抱える教育課題と社会学連携の可能性 — 十津川村の事例」

<休憩>

17:00～17:40

講演④：思沁夫（大阪大学）

「“海外フィールドスタディプログラム”と地域との協働

— モンゴル、雲南、日本の事例を中心に —」

17:40～17:50 質疑応答

17:50～18:00 閉会の挨拶：栗本修滋（大阪大学）

大学の社会連携（社会学連携）の重要性がうたわれて久しいです。しかし、「地域」と共に考え、実践することは研究として、教育としてどのような意味があるのでしょうか？また社会連携は本当に「地域」の支援になっているのでしょうか？

本シンポジウムではこれまでに10年あまり地域とともにやってきた研究教育活動を振り返り、新しい地域連携の可能性を探ります。

具体的には、中国・雲南省やモンゴル、奈良県十津川村、兵庫県宍粟市、滋賀県山門水源の森における取り組みを振り返り、大学を含む多様なアクターとの協働や共創の在り方について皆さんと考えたいと思います。

主催：大阪大学グローバルイニシアティブ・センター、JCAS(地域研究コンソーシアム)

共催：大阪大学C0デザインセンター、大阪大学大学院工学研究科

問い合わせ先：大阪大学グローバルイニシアティブ・センター 思 沁夫（す ちんふ）

Tel:06-6879-4440 E-mail:s.qinfu@gmail.com, yarugai@cgin.osaka-u.ac.jp